

体育会学生のみなさんへ
ーワクチン接種に関わる注意事項について（改訂版）ー

スポーツ強化オフィス

ワクチンの接種に関しては、世界中でワクチン接種者に対して、その接種済みの証明を出すことにより、移動の緩和などが行われています。これは日本も同様で、ワクチン接種証明書を発行する準備が進められています。【内閣官房副長官補室（コロナワクチン接種証明担当）による第1回自治体向け説明会 令和3年6月25日】

現在、様々な公式試合等において、感染の有無を判断する必要があり、PCR 検査や抗体検査といった方法により、新型コロナの感染者でないことを証明しています。今後の公式試合等の対応は不明な点もありますが、感染リスクを抑えるためのワクチンを接種している事が求められる可能性も否定できません。

大学で接種が可能となるのは、モデルナ社が開発したワクチンとなりますが、ワクチンを2回接種することで、感染を防ぐ効果が6か月後においても90%以上であるとの検証結果が報告されています。このような効果がある、という事は、リスクの高いと言われるスポーツ活動においても、感染リスクを大幅に下げる事が期待できます。

ただし、感染を防ぐ効果が90%以上という事は、逆を返せば100%ではないため、完全に感染リスクを抑えることができる訳ではありません。そのため、新型コロナ対策の基本となっている「日常的なマスクの着用」や「こまめな手指消毒」などは、今後も継続して実施していく必要があります。この対策の基本を改めて徹底し続ける事で、感染リスクの高い周囲の人たちへの感染を未然に防ぐことができます。

一方で、クラブ内でワクチン接種が順調に進むことによって、ワクチン接種者同士の練習や練習試合、ミーティング、また移動や宿泊などの制限を一定の割合で緩和できる可能性も出てきます。その際にも、クラブ外への万が一の感染を防ぐために、日常的な感染対策の徹底が求められます。

学生部長メッセージおよび、上記のようなワクチン接種による環境変化の可能性を踏まえ、接種について改めて検討してください。

なお、ワクチン接種を行う際には、競技との両立に向けて、以下のことに注意した上で接種を行うようにしてください。

- ・ワクチン接種は、2回の接種を必ず行うこと

2回の接種を行う事によって、抗体が増え、感染を防ぐ効果が高まります。

- ・無理なワクチン接種を行わないこと

アナフィラキシーショックのように、ワクチン接種をすることの方が、リスクが高い場合があります。そのため、周囲の人に無理に接種を勧める（強制する）などは絶対にしないでください。

- ・2回目接種時の副反応に気を付けること

現在（6/30）、厚生労働省の報告によれば、国内外においてワクチン接種を原因とする重篤な後遺症の事例はなさそうですが、2回目のワクチン接種後に40%程度の人に平均3日程度続く副反応が生じています。試合等のパフォーマンスに影響する可能性があるため、2回目の接種後のスケジュールを踏まえて、1回目の接種日を決めるようにしてください。

・ワクチン接種当日の練習参加は控え、安静にしてください。

・接種後、副反応のある間は練習を控え、安静にしてください。

ワクチンに関する参考アドレス

厚生労働省新型コロナワクチン Q&A (<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>)